

温故知新

2018年10月22日

柿野 周二郎

1年振りの四江会出席、心身ともに各所が劣化したとはいえ出席がかない、昔のことを思い出しながら旧友と語り合える幸せを感じました。中学2年の時だったろう、地理の授業で五大湖の名前がどうしても覚えられない、スペリオル、ヒューロン、ミシガン、エリー、オンタリオとなんべんつぶやいても頭に残らない、だから俺は地歴の暗記物は嫌いなのだと決めつけました。先生はこの五大湖の意義を順々と説かれたに違いないがおくて晩生の私はそれが理解できないだけの話だったのだ。高校の時は人文地理はあえて選択しなかった。地政学の概念を知ったのはいつのころだったろう。今考えると熊中の授業は進んでいたのだ。東洋史も漢文も早くから習った。武道がGHQの指令で禁止になっていたので我々の学年は剣道も柔道も習っていないのが残念です。学校外で柔道を習っていた友人を2人知っています。

最近坂野（高田）登氏の著書を知りました。「不安の力」「利き脳論」とても興味をそそるタイトルです。けれど素直に言って2千円を超える本は買えなくなりました。最近はおっぱら新書ばかりに手が伸びます。この2冊の本が新書版で出たらベストセラーか？

車の好きな私は kappa・ブックスの「初歩・自動車工学」「運転秘訣集」を仕事で知ることになった著者からその本にサインを貰った。愛^車 愛^人と返り点を付けた添え書きまで頂いた。“ベストセラーを出すと人生が変わるのですよ。あの時 土地を買っとけば・・・”と述懐されたのを思い出しました。

文武両道という言葉はいまでも使われます。我々の2年先輩に大西校長の息子さんがいました。陸上競技の選手でもあり憧れの的でした。京大に進まれたことを覚えていません。

付け足し：四江会のあとはとんぼがえりで夜中には帰宅できる様に私なりに綿密にスケジュールを立てていました。熊本駅で約 50 分の新幹線の延着がアナウンスされました。慌てました。結果的に接続される筈の最終高速バスは出てしまっていました。カプセルホテルは何処も満杯でした。偶然博多駅近くのホテルが取れましたが。原因は岡山県で発生した人身事故でした。これが九州まで影響するとは！間もなく東京オリンピックです。多くの外国人が来日しますが善意の人ばかりとは限らない。大阪府警の逃走犯人取り逃がし事件も気になります。“ぼーっと生きてるんじゃないよ！”と NHK の 5 歳のチョコちゃんに叱られそうです。

補足（2018 年 11 月 7 日）

昔の記憶がだんだん怪しくなっています。趣旨も首尾一貫していないことを恥じています。今回の総会で貴兄が四江会の HP はスマホでも見られる、お孫さんに聞いたらどうか？との趣旨のことを話されました。聞くは一時の恥 聞かぬは一生の恥、ならぬ一生の損だと思っています。

お答え（鬼木甫、同日）

スマホでも見られます。画面が小さく、見づらいのですが、基本的にはパソコンと同じです。スマホの「インターネット画面の検索」で「四江会」と入れ、「検索ボタン」を押すだけで出てきます。

しかしスマホでは（パソコンでも）、「四江会（しこうかい）」と仮名で入れても最初は変換が出てこないのです、小生は「四角形、揚子江、会議」のように入れて、不要の部分を消しています（スマホ・パソコンが一度「四江会」の変換候補を学習すればその後は一度で出てきます）。一度四江会画面が出れば、メニューから「このページを記憶（登録）」することにより、次回からは「登録したページを見る」だけですみます。今回「しこうかい」「シコウカイ」の仮名でも画面が出るように変更しましたので、1～2 週間後に試して下さいませんか。